
プロジェクト	金融資産の減損に関する会計基準の開発
項目	本日の審議事項の概要

本資料の目的

1. 本資料は、本日の企業会計基準委員会においてご審議頂く事項の概要についてご説明することを目的としている。

本日の検討事項

2. 第464回企業会計基準委員会（2021年8月30日開催）では、金融資産の減損に関する会計基準の開発におけるステップ1（ECL（IFRS基準）とCECL（米国会計基準）のどちらのモデルを開発の基礎とするかの選択）の検討の前段階として、金融資産の減損に関する日本基準、IFRS第9号及びTopic326の比較についてご説明を行った。
3. 本日は、前回企業会計基準委員会に引き続き、ステップ1の検討に入る前段階として、以下のご説明を行う。
 - (1) ECLモデル（IFRS基準）とCECLモデル（米国会計基準）の基本的な考え方（審議事項(3)-2）
 - (2) ECLモデル（IFRS基準）とCECLモデル（米国会計基準）の当初適用による影響（審議事項(3)-3）
4. なお、第169回金融商品専門委員会（2021年9月7日開催）で聞かれた意見は、審議事項(3)-4に記載している。

以 上